本部長に聞く

十管　野網（のあみ）　仁（ひとし）氏

真の「海守」育成が必要

「不審な船」の情報こそ大切

――管区の最重要課題とその対応について。

中国、東南アジア、北朝鮮などから日本に向かう船舶が必ず通過する広大な海域を受け持っています。不審船・テロ、密航・密輸対策に力を入れなければなりません。もちろん、関係機関と連携して。

管内には約900の島があります。不審な行為を発見する目は広く点在しています。海上保安官が島巡りをし、島民の方としっかり話をして海上保安業務への理解を深めていただく必要があります。

灯台関係の人が頼りにされるのは、島に上がって島民と会話するからです。

九州南西沖不審船事件の影響からか、現在でも月に3、4件の「見慣れない船」情報が入りますが、これらの情報源は大切に育て、真の「海守」を育成したい。

川内原発、石油備蓄基地前面海域警戒については、船の運用が大変ですが、24時間警備はまだ必要です。

――業務で辛かったことと、うれしかったことは。

平成10年、函館で海上保安庁のヘリコプターが墜落し、3人が亡くなりました。パイロット出身ということで、一管船舶技術部長だった私が、本部長代理で現場に向かいました。生存者ならびにご遺族への対応が辛かった。

私の吊り上げ救助は200人を超えています。総理大臣表彰も2回いただいています。中曽根首相時代の三宅島噴火。最後に残っていた老人のうち2人を吊り上げました。鈴木首相時代には北海道で中国の貨物船が座礁。2機で47人を救助しました。

最近でうれしかったのは高速大型ジェット機2機の導入と航空整備管理センターの開設です。それぞれ装備技術部の航空機課長、管理課長の時に参画できたものです。

――その経験を本部長としてどう生かしますか。

仕事場の安全な環境作りをしたい。私は色々なタイプの仕事を経験してきました。職員にも職種にこだわることなく、各種の海上保安業務経験を積んでもらい、その中から自分の能力に適した仕事を見つけていってもらいたい。

――本部長としての基本姿勢と職員に望むことは。

海上保安官は、言われたことはしっかりやりますが、自分で仕事を探すことは不得手です。「新しい仕事を探しましょう」が十管本部の合言葉です。

高度のハード、ソフトの情報収集力を活用する切り口。市民と交わって「誰かやってくれないか」という仕事を拾い集めてきて、やれることを考える手法。多様な方法があります。

より国民の負託に応えられる仕事を見つけた後には既存の仕事の整理が必要です。組織全体がからむので簡単ではありませんが、「サービス効果が少ない仕事はこれだ」と英断するでしょうね。

私の信条

今お話したこととつながるのですが、「仕事の改善」。仕事を整理して活動時間を作り、新しい仕事に取り組もうという意味です。

「こじま」遠航記

神倉　力

「こじま」は5月26日午前9時（日本時間27日午前1時）、最初の寄港地サンフランシスコに入港した。20日に日付変更線を通過、20日が2日あったので、呉出港から14日目の陸上だった。

出港した日の呉は雨。その後も前線に追われる形で天候は回復せず、曇り続き。やっと青空が見えたのは航海12日目、シスコ入港前々日の24日だった。予定していた訓練は荒天のため延期続きで、実施できたのは総員退船部署、防火部署、応急法だけだった。

入港翌日の27日は森吉高船長、平家隆雄業務管理官はサンフランシスコ市丁、

る森船長

じま」訓練甲板で船長主催のレセプションが開かれ、訪問先の関係者ら約140人が出席、乗組員・実習生と友好の輪が広がった。

28日、実習生はUSCGのサンフランシスコ航空基地と太平洋方面本部を見学。夕方から現地のボランティア団体「セール・サンフランシスコ」に招かれ、夕食を共にした。29、30の休日にはヨセミテ公園を観光したり、日系人会の歓迎会にも参加、サンフランシスコの休日を楽しんだ。

少林寺拳法などに歓声

シスコで船上レセプション

27日の「こじま」船上レセプションは午後6時から8時まで行われ、サマータイム（1時間繰り上げ）もあって日没前のひととき、親善の輪が広がった。実習生による少林寺拳法の演武、尺八と三味線の合奏に歓声と拍手が送られた。

レセプションには昨年、ゴールデンゲートブリッジの下を通る「こじま」の姿を海上保安新聞に送ってくれた美恵子ワトキンスさん夫妻も参加し、森船長らと歓談した。美恵子さんは、昨年「こじま」の入港時間をサンフランシスコ総領事館に問い合わせたことから、海上保安庁出向の田村誠副領事に招待された。

USCG太平洋方面司令部見学で実習生は、カッター（巡視船）「モーガンソー」が3、000㌧と「こじま」とほぼ同じ大きさなのに、乗組員が200人（「こじま」は41人）と聞き、驚いていた。また、ミサイルに攻撃された際に目くらましするミサイル防衛システムや76㍉機関砲を見て、USCGと海上保安庁の違いを実感していた。

昼食は司令部のカフェテリアで食べたが、昼食中に国際航海課程の二瀬貴之実

未公開の映像入ったビデオ

工作船との銃撃戦　公開会場で上映中

海上保安庁は北朝鮮工作船の一般公開用に、巡視船との銃撃戦の模様を、約13分のビデオにまとめた。工作船の乗組員の動きが分かる未公開映像も加えている。「船の科学館」の公開会場で見ることができる。

ビデオは追跡状況、停船命令、威かく射撃、工作船の火災、巡視船への攻撃、正当防衛射撃、工作船の自爆、巡視船への被害などで構成されている。

未公開映像は、巡視船の20㍉機関砲の射撃を受け工作船の甲板から出火、乗組員が毛布で火を消そうとする姿や、接近した巡視船に乗組員が日本語と朝鮮語で「あっちに行け」と言いながら手を振る場面。さらに証拠品とみられる物を乗組員が海に投げ込む場面もある。

巡視船に「あっちへ行け」と叫びながら手を振る工作船の乗組員

工作船の火災を毛布で消そうとする乗組員

海上保安庁

総合的文書管理システム

本格運用を開始

進むペーパーレス化、効率化

政府が推進する電子政府の実現の一環として、海上保安庁は6月2日から総合的文書管理システムの本格運用を始めた。同システムの運用により、本庁では紙に出力し、手作業で行っていた文書の起案から決裁、発送、保管までの一連の作業を、すべて行政情報システムのパソコンを使って行うことができるようになり、業務の効率化、ペーパーレス化が進んでいる。

総合的文書管理システムは「稟議決裁」、「文書管理」、「省庁間電子文書交換」の三つのシステムで構成されている。文書の決裁と保管、供覧の場合には、自分のパソコンから直接システムにアクセスできる。文書を起案して決裁を受け、起案簿に登録するまでがすべてパソコン上ででき、これまでのように紙文書を手渡ししたり紙に記録する必要がなくなった。

電子文書は文書管理システムで保管、管理され、文書名や作成者、作成時期などの情報は国民がインターネットで見ることもできる。

決裁文書はICカードにより電子署名され、電子メールで庁内だけでなく同システムを整備した他省庁へも送信される。受信した電子文書もシステム上で管理できる。

管区本部や保安部署などでは文書の起案と決裁、保管は手作業のままだが、「省庁間電子文書交換」システムにより決裁文書への電子署名と、庁内と他省庁への文書の送受信ができるようになった。

これまでに作成した文書の電子化は各部署ごとに進められており、坂出保安署では「誰もが」「いつでも」「閲覧できる」ようすべての文書を電子化した。

海上保安庁は14年度から内部事務の電子化を進め、今年2月にシステムを整備、試験運用を行っていた。

（情報管理室）

フィリピン沿岸警備隊参謀長らが来日

フィリピン沿岸警備隊のタマヨ参謀長ら2人が、5月22日から31日まで海上保

海上防災基地なども視察、最後に海保大を訪問した。

また6月8日には同隊教育訓練局長のアビノハ准将が、国際協力事業団（JI

おける維持経費などの節減への取り組みについて」。

昨年度に保安部の物品などの調達業務が管区本部に一元化されたことに伴い、

もとに討議。男女共同参画基本計画に基づく女性海上保安官の採用・登用の推進体制なども話し合う。

調査室長）　宮本哲司

名古屋税関出向（四運用司令センター主任運専官）　名和　寿

四運用司令センター主任運

叙位・叙勲

従六位・勲六等単光旭日章（元平戸次長）　古川　文治

正七位・勲六等単光旭日章（元七かいおう主計長）　小川　和男

＝以上3月10日

正五位・勲四等瑞宝章（元佐世保かばしま船長）　永岡　昭三

＝3月16日

従六位（元青谷航標所長）　秋山榮一郎

＝3月21日

従六位・勲六等単光旭日章（元浜田さがみ首機士）　肥後　正雄

＝3月29日

正七位・勲五等瑞宝章（元両津署長）　水口　升

＝4月1日

従四位（元小樽部長）　中井　安信

＝4月2日

正五位（元海保大教授）　平野新太郎

＝4月6日

正七位・勲五等瑞宝章（元

14㌔の排他的経済水域で、マルタ共和国船籍冷凍運搬船MERRY FISHER（4、939㌧）が油を流しながら航行していると、航空自衛隊厚木基地P3Cから三管本部に通報があった。

羽田航空基地YS11機が午後4時ごろ、無線で油流出を確認したが認めず、東京保安部が21日、東京港大井食品ふ頭に着岸したM号乗組員を調べたところ、フィリピン人機関員(30)が20日午前11時すぎから11時半ごろまで、ビルジを移送する際にバルブ操作を誤り、油分141㍑を含むビルジを排出したことが分かった。22日、海防法違反容疑で検挙した。

代理人からボンド制度による担保金100万円の提供があり、M号は23日夜、韓国向け出港した。（東京）

日本の領海内で不法にマグロ漁

きれいな海を護るネオス

高粘度油用油処理剤	ネオス D-1128	型式承認番号P-553
通常型油処理剤	ネオス AB3000	型式承認番号P-258
	ネオス AB2000	型式承認番号P-257
液体ゲル化剤	ネオス ジェリーロック	型式承認番号P-440

株式会社ネオス
本社　神戸市中央区磯辺通3丁目1-2（第三建大ビル）　TEL：078-331-9384
東京支店　東京都港区芝公園2-6-15（黒龍芝公園ビル）　TEL：03-3434-7823